

【森林整備課所管事業審議資料】

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 1
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
公共林道事業（地域自主戦略交付金） . . . p 2
- 平成24年度 再評価実施箇所（附図）
公共林道事業（坂本～弓掛線） . . . p 3
- パワーポイント
公共林道事業（坂本～弓掛線） . . . p 5～p 11

平成24年度 再評価対象箇所一覧表 9月4日審議箇所

[林政部森林整備課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費(百万円)		実施済み額(百万円)		進捗率(%)		経過年数(※24.3現在)	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地域の意向	環境との調和への配慮事項	事業費削減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項	
						全体事業費	実施済み額	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等										
1	公共林道事業 (地域自主賤路交付金)	坂本~弓掛	下呂市	H9	H30	開設 L=4,920m 補装 L=3,271m	L=5,452m	2,132	1,451	2,132	1,451	68.1%	68.1%	15	森林づくり基本計画 林業及び木材産業振興	-	特に変化なし 地帯は早期完成を要望	間伐材の活用、再生・リサイクル製品の利用など	プラスチック製品の利用・補強土質工法の利用	投資効果(1.61) 1.25	継続		

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果算

平成24年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（地域自主戦略交付金）
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 ・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p>
概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林基幹道開設 ・森林管理道開設 ・森林施業道開設 	
○費用対効果の分析について	効果の項目	<ul style="list-style-type: none"> ・水源かん養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
	その他項目	
費用便益B/C	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費 ・単価の基準：事業開始年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間
	費用便益比の基準	B/C=1.0以上

平成24年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕

番 号	1	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (地域自主戦略交付金) (坂本～弓掛 線)
事業実施箇所	起点：下呂市馬瀬西村 終点：下呂市金山町弓掛	事業主体	岐阜県
採択年度	平成9年度	完了予定年度	平成30年度
再評価の実施基準	事業採択後、長期間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>本林道の開設により、木材の搬出はもとより、低コスト化林業経営の展開、適正な森林管理の確保、森林資源の整備拡充、林業労働者の作業環境の改善等地域の林業振興に資する。</p> <p>さらに、起点側に位置する南飛騨馬瀬川温泉「美輝の里」と終点側に位置する生活環境保全林「飛騨金山の森」を結ぶアクセス道として地域の観光産業の発展に資する。</p>		
事業概要	<p>幅員：5.0m</p> <p>全体延長：5,452m (内トンネル257m)</p>		
概要図			

公共林道事業(地域自主戦略交付金)

坂本～弓掛線の再評価



1

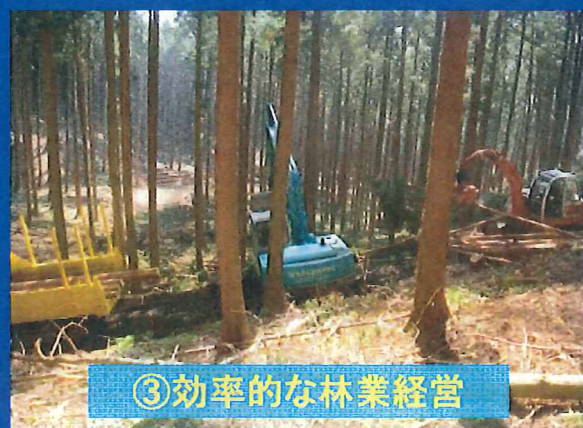
林道事業の目的



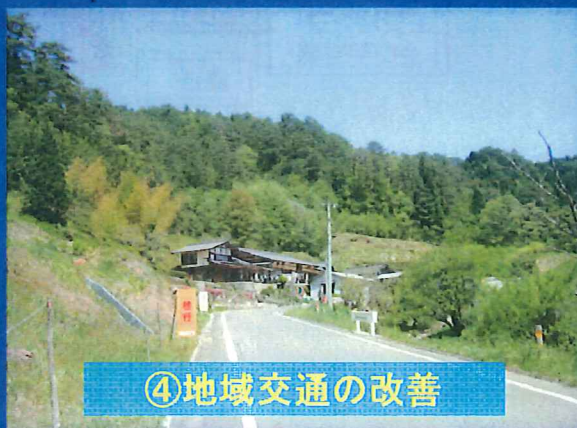
①適正な森林整備



②間伐材等木材の搬出



③効率的な林業経営



④地域交通の改善

2

県政策での位置づけ

◇岐阜県長期構想

(平成21年度～平成30年度)

○ 人・モノが活発に交流する岐阜県

◇岐阜県森林づくり基本計画

第1期(平成19年度～平成23年度)

第2期(平成24年度～平成28年度)

○ 健全で豊かな森林づくりの推進

○ 林業及び木材産業の振興

作業道 森林整備に利用する
一時的施設



支線林道 森林整備に利用する
暫久的施設



幹線林道 トラックなどが安全に
通行可能な永久施設



3

「坂本～弓掛線」の概要

事業期間	平成9年～平成30年
事業費	2,132百万円
事業内容	幅員 5.0m 延長 5,452m
利用区域	294ha

— 計画線
— 利用区域

主要地方道
金山明宝線

終点

起点

県道
下山名丸線

国道41号線

下呂市

下呂温泉

下呂市役所

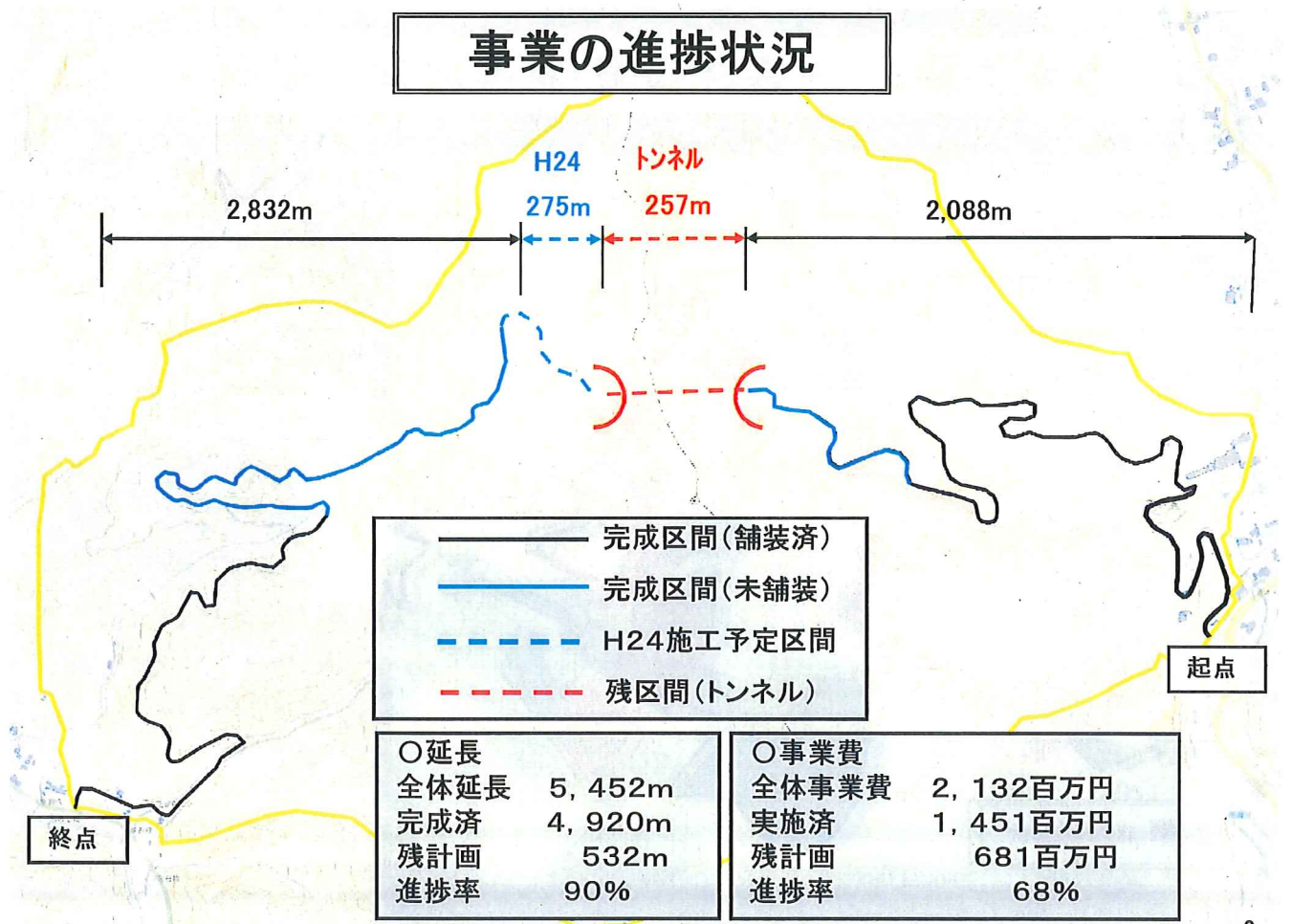
4

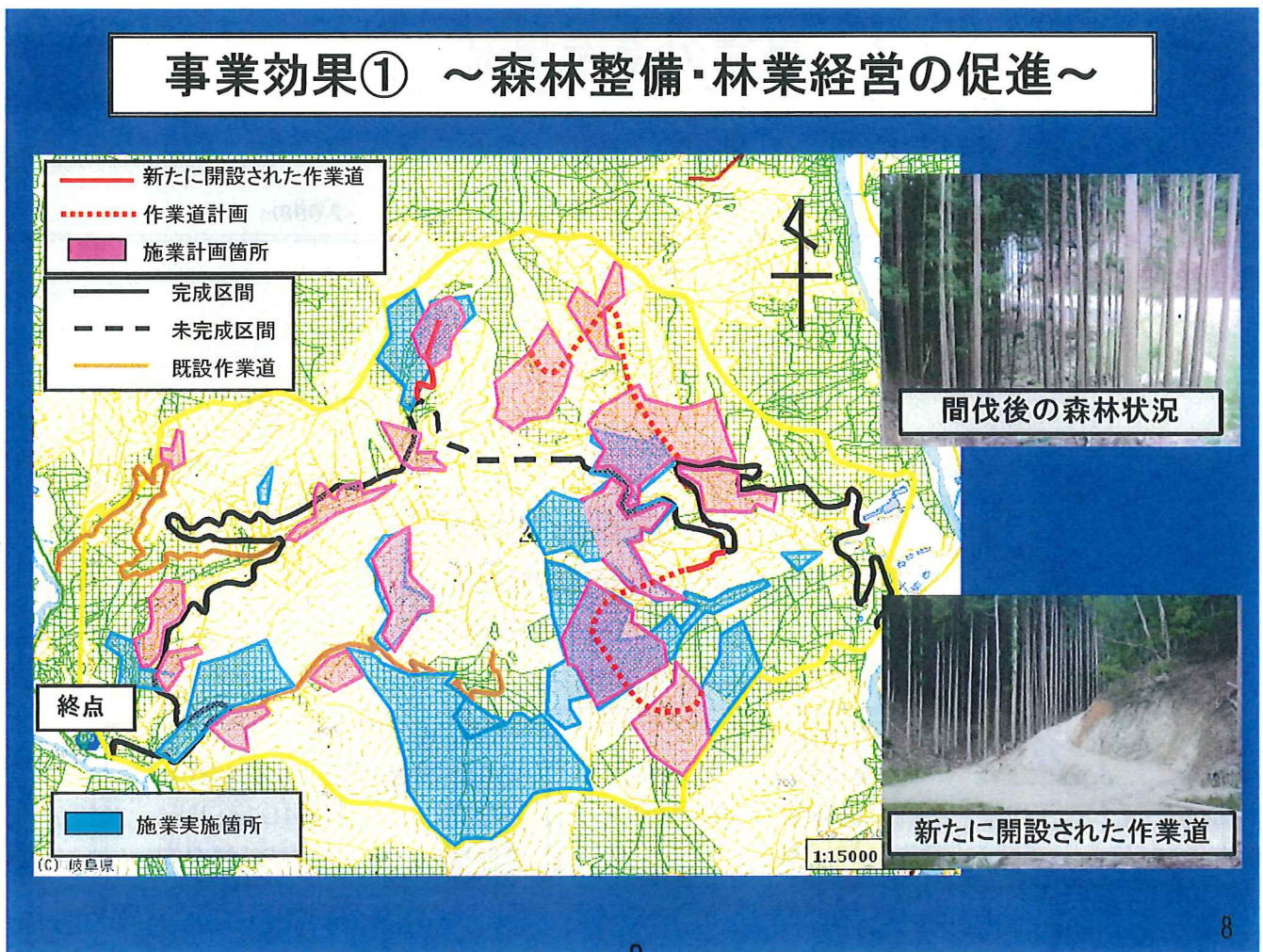
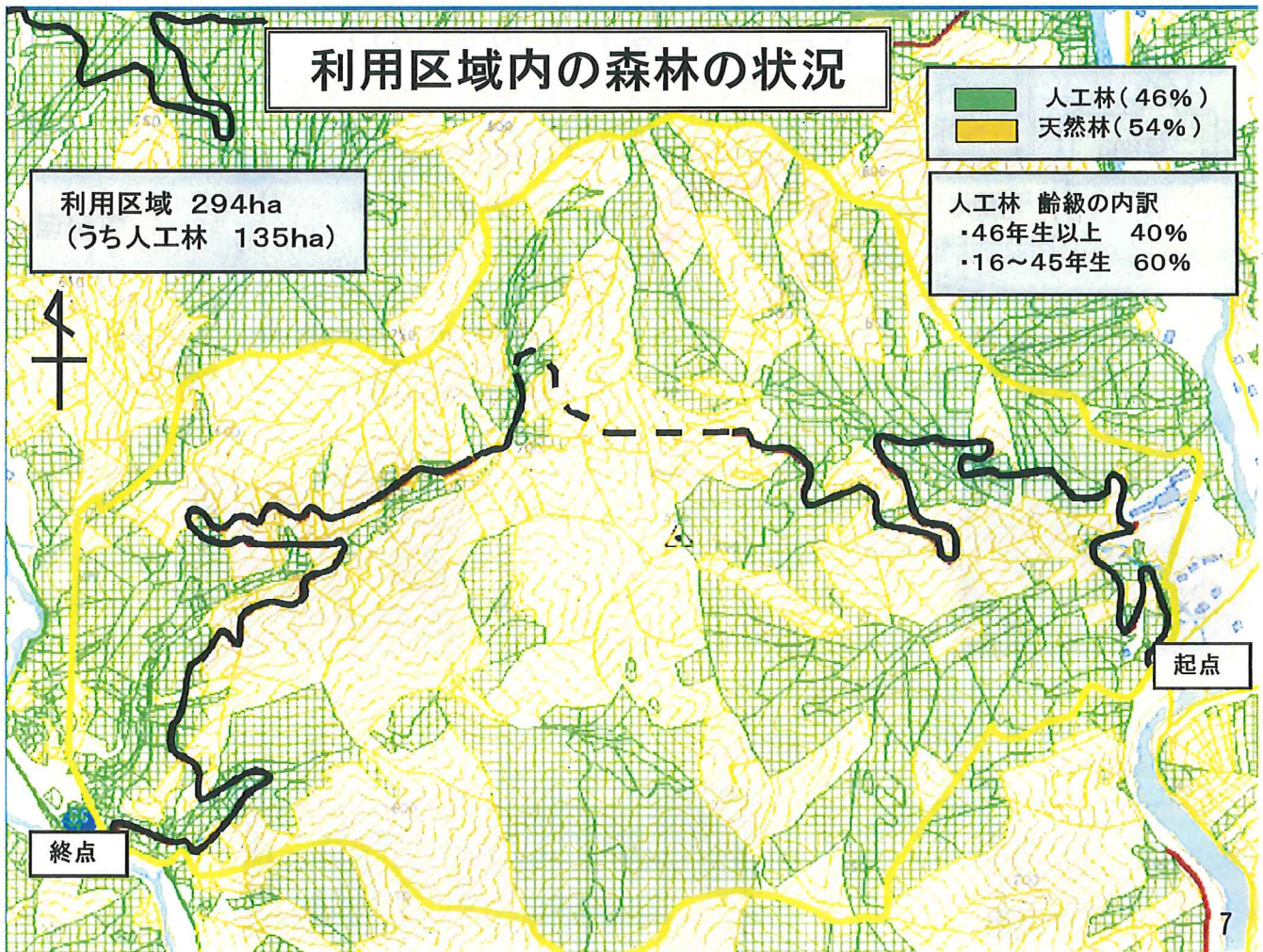
下呂市政策での位置付け

- ・下呂市第1次総合計画(平成17年度～平成26年度)
- ・下呂市観光計画(平成22年度～平成26年度)



事業の進捗状況





事業効果② ～森林総合利用の促進～



生活環境保全林
「飛騨金山の森」
(キャンプ場・軽登山等)



南飛騨馬瀬川温泉
「美輝の里」
(温泉・森林公園等)



事業効果③ ～走行時間短縮・災害時迂回ルート～

郡上市
明宝小川地区へ

— 林道利用 —
— 県道利用 —

金山
弓掛地区

馬瀬
西村地区

林道ルート
L=6.2km 12分

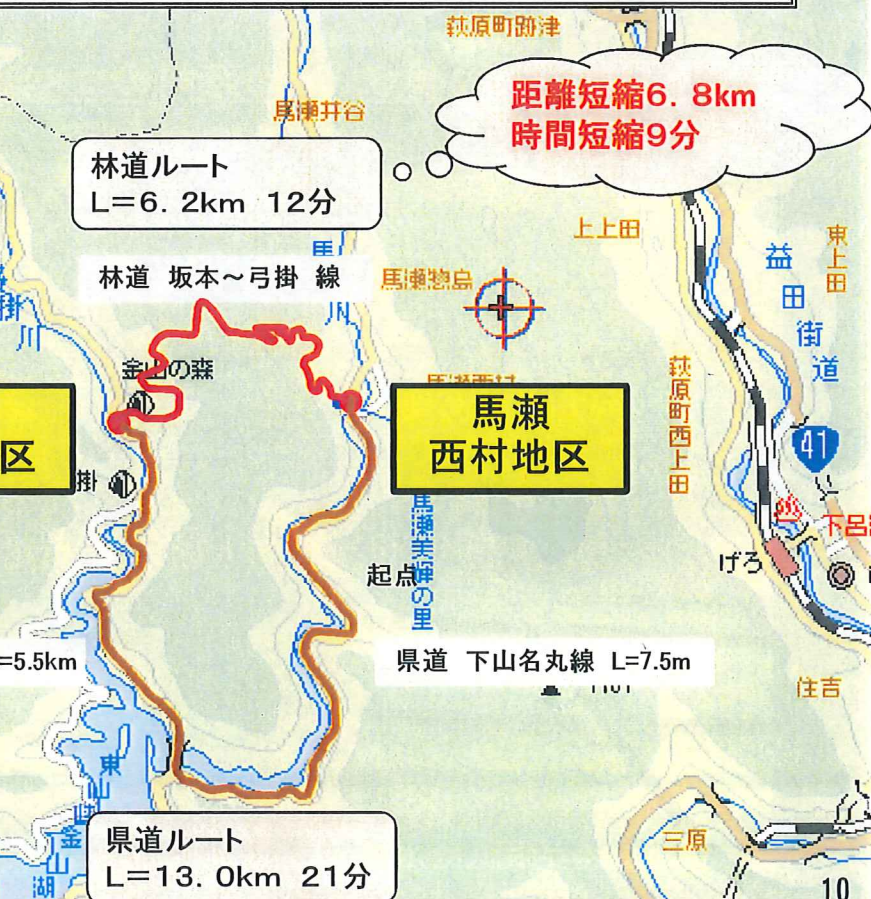
林道 坂本～弓掛 線

距離短縮6.8km
時間短縮9分

主要地方道 金山明宝線 L=5.5km

県道 下山名丸線 L=7.5m

県道ルート
L=13.0km 21分



費用対効果分析

■ 効果額の内訳

木材生産・森林整備経費縮減等便益	効果全体の31%
森林の総合利用便益	効果全体の59%
その他便益	効果全体の10%

■ 投資的効果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.3$$

（前回評価時
(H19年度)
1.6

11

コスト縮減・環境への配慮



12

関係者の意向

【市・林業関係者等】

適切な森林整備の促進・森林施業の低コスト化を図るには林道が必要。

【市・観光協会等】

「美輝の里」と「金山の森」を相互に行き交うアクセス道として地域振興に大きな効果がある。

【市・地域住民等】

県道が土砂崩れ等による交通規制の際の迂回路として期待。



早期完成を希望

13

対応方針(案)

1. 森林整備促進の必要がある。
2. 地域振興のための重要な路線である。
3. 地元から早期完成の要望が強い。



継続して事業を実施することが妥当

14